

〔表3〕食品等放射性物質の主な検査結果（平成26年度） 【Bq/kg=ベクレル/キログラム】

①保育所給食の検査結果

検体数	検査結果		検出下限値
819件	基準値以下	819件 (100%)	放射性セシウム134 =0.22~0.51Bq/kg 放射性セシウム137 =0.26~0.50Bq/kg 放射性ヨウ素 =0.31~0.63Bq/kg
	うち不検出	815件 (99.5%)	

※最大値は、セシウム134とセシウム137の合算値です。  
※検出値が0.44Bq/kg（セシウム137）の給食を、毎日200g、1年間食べ続けた場合の内部被ばく線量は「3~7歳」の例で示すと0.00031mSvとなります。

⑤飲料用井戸水の検査結果

検体数	検査結果	地区別件数	検出下限値
201件	不検出	201件	放射性セシウム134 =1.00Bq/kg 放射性セシウム137 =1.00Bq/kg 放射性ヨウ素 =2.00Bq/kg
		平14 小名浜2 勿来5 常盤1 内郷1 四倉11 遠野25 小川31 好間0 三和20 田人45 川前17 久之浜・大久29	

⑥保育所プール水の検査結果

検体数	検査結果	検出下限値
49件	不検出	49件
		放射性セシウム134 =1.00Bq/kg 放射性セシウム137 =1.00Bq/kg 放射性ヨウ素 =2.00Bq/kg

⑦幼稚園、小・中学校プール水の検査結果

検体数	検査結果		検出下限値
363件	基準値以下	363件 (100%)	放射性セシウム134 =0.378~1.6Bq/kg 放射性セシウム137 =0.404~1.3Bq/kg
	うち不検出	360件 (99.2%)	

※最大値は、セシウム134とセシウム137の合算値です。  
※基準値は、文部科学省の通知により、水道水の管理目標値の10Bq/kg。

⑧四倉・勿来海岸の海水の検査結果

検査結果		検出下限値
四倉海岸	勿来海岸	放射性セシウム134 =1.00Bq/kg 放射性セシウム137 =1.00Bq/kg
不検出	不検出	

※「不検出」とは測定値が検出下限値未満であることを表します。

②小・中学校給食（調理後）の検査結果

検体数	検査結果		検出下限値
440件	基準値以下	440件 (100%)	放射性セシウム134 =0.417~1.03Bq/kg 放射性セシウム137 =0.481~0.972Bq/kg
	うち不検出	440件 (100%)	

※学校給食で使用する食材等についての検査結果については、市ホームページをご覧ください。

③加工食品の検査結果

（基準値：100Bq/kg）

検体数	検査結果		検出下限値
592件	基準値以下	592件 (100%)	放射性セシウム134 =0.29~9.00Bq/kg 放射性セシウム137 =0.29~10.00Bq/kg 放射性ヨウ素 =0.37~13.30Bq/kg
	うち不検出	577件 (97.5%)	

※最大値は、セシウム134とセシウム137の合算値です。  
※検出値が28Bq/kg（セシウム134=8.8Bq/kg、セシウム137=19Bq/kg）の加工食品を、毎日1kg、1年間食べ続けた場合の内部被ばく線量は「3~7歳」の例で示すと0.1083mSvとなります。

④水道水の放射性物質検査

検査内容	検査結果	検出下限値
市内12カ所の浄水場の水道水を週3回（遠野地区の3浄水場は週1回）	不検出	放射性セシウム134 =1Bq/kg未満 放射性セシウム137 =1Bq/kg未満 放射性ヨウ素 =1Bq/kg未満

※平成27年4月からは、市内全12カ所の浄水場のうち法田第一ポンプ場、旅人浄水場、上遠野浄水場の3浄水場は週1回実施しています。



▲ホールボディカウンターによる内部被ばく検査



▲ゲルマニウム半導体検出器による食品等の放射性物質検査

〔表1〕内部被ばく検査結果（平成23年11月21日~平成27年3月31日）  
【mSv=ミリシーベルト】

受検者数	預託実効線量 1 mSv未満	うち不検出	
		検出	検出
97,139人	97,139人(100%)	96,038人(98.9%)	1,101人(1.1%)

※預託実効線量は、体内から受ける内部被ばく線量の累積線量（成人は50年、子どもは70歳まで）。検出限界値は放射性セシウム134=200ベクレル、放射性セシウム137=220ベクレル（検出限界値を預託実効線量に換算した場合「3~7歳」の例で示すと、0.058mSvとなります）。

〔表2〕甲状腺検査の結果（平成27年3月31日現在）

一次結果判定状況		該当者数
A判定	1判定 （結節やのう胞を認めなかったもの）	21,779人(44.2%)
	2判定 （5.0mm以下の結節や20.0mm以下ののう胞を認めたもの）	27,078人(54.9%)
B判定 （5.1mm以上の結節や20.1mm以上ののう胞を認めたもの）		452人(0.9%)
C判定 （甲状腺の状態等から判断し、直ちに二次検査を要するもの）		0人(0.0%)
計		49,309人(100.0%)

市では、福島第一原発の事故発生直後から、市民の皆さんの安全・安心を第一に、放射線健康管理対策やいわき産農産物・水産物の安全性確保と信頼回復に向けた放射性物質検査などを行っています。今月号では、放射線に対するこれまでの主な取り組みなどについて、お知らせします。

# お知らせします 放射線に対する取り組み

## 内部被ばく検査等 放射線健康管理対策

### これまでの実施状況

#### ○内部被ばく検査の結果

昨年度末までに実施した、ホールボディカウンターによる内部被ばく検査の結果は（表1）のとおりです。

また、受検者の預託実効線量は、全員が一ミリシーベルト未満であり、健康に影響が及ぶ数値ではありませんでした。

#### ○甲状腺検査の結果

県は、現時点での甲状腺の状況を把握するとともに、生涯にわたる健康を見守るために甲状腺（超音波）検査を実施しています。

本市では、平成二十四年度から先行検査を実施しています。

その検査結果は（表2）のとおりです。

#### ○食品等放射性物質の検査結果

保育所、小・中学校の給食や加工食品をはじめ、水道水や飲料用井戸水などの放射性物質の検査を継続して実施しています。

また、保育所や幼稚園、小・中学校プール水、海水浴場が開設予定の四倉・勿来海岸の海水の検査も行っています。その主な検査結果は（表3）のとおりです。

#### 今年度の検査体制

##### ○内部被ばく検査

市内二カ所、昨年と同様に検査を実施しています。検査の対象地区などについては、順次、回覧などでお知らせします。

##### ○甲状腺検査（本格検査）

本市では、二回目となる甲状腺検査（本格検査）が今年五月から実施されています。

対象となる方には、県より検査のお知らせが送付されます。

##### ○食品等放射性物質検査

昨年度と同様に、引き続き各種検査を実施していきます。

〈表7〉いわき産水産物の放射性物質モニタリング検査結果

①検査結果 (平成26年度) (基準値：100Bq/kg)

区分 (Bq/kg)	検査結果		基準値に対して	
	検体数	割合	検体数	割合
検出下限値未満	673	98.2%	685	100.0%
検出下限値超～50Bq/kg以下	12	1.8%		
50Bq/kg超～100Bq/kg以下	0	0%		
100Bq/kg超～	0	0%		
計	685	100.0%	685	100.0%

※検出下限値：セシウム134とセシウム137の合算値が約10Bq/kg。

②魚種別の検査結果 (平成26年度)

検出の有無	魚種名	検体数	検出下限値を超えた検体数	100Bq/kgを超えた検体数
検出された魚種	アワビ	42	4	0
	ガザミ	27	3	0
	ヒラツメガニ	37	2	0
	イシカワシラウオ	16	1	0
	ホウボウ	9	1	0
	ヤナギムシガレイ	30	1	0
	小計 (6魚種)	161	12	0
検出されなかった魚種	アオメエソ(メヒカリ)、アカガレイ、アカムツ、イワシ、カナガシラ、キアンコウ、キチジ、ケガニ、コウナゴ、コウナゴ(加工※)、サメガレイ、サヨリ、サワラ、シラウオ、シラス、シラス(加工※)、シロザケ、シロザケ(タマゴ)、スケトウダラ、スルメイカ、ズワイガニ、チダイ、ヒメエゾボラ、ブドウエビ、ペニズワイガニ、ホッキガイ、マアジ、マガレイ、マダコ、マダコ(加工※)、マダラ、ミギガレイ、ミズダコ、ミズダコ(加工※)、モスソガイ、ヤナギダコ、ヤナギダコ(加工※)、ヤリイカ、ユメカサゴ			
	小計 (33魚種)	524	0	0
	合計	685	12	0

※加工品については、加工後にも加工業者ごとに検査を実施。

**水産物に関する放射性物質検査など**

安全性を確認しながら試験操業を実施

○原発事故以降は操業自粛  
本市の沿岸漁業は、福島第一原発事故を受けて、県漁業協同組合連合会の決定により、平成二十三年三月十五日から現在まで、操業が自粛されています。

○試験操業を実施  
漁業再開へ向け、県のモニタリング調査などで安全

性が確認された魚種を対象に、小規模な操業と販売を行い、出荷先での評価を調査するため、本市沿岸域で試験操業が行われています。

○検査結果  
昨年度、試験操業で水揚げされた、水産物の放射性物質検査の結果は〈表7〉のとおりです。

○出荷方針  
県漁業協同組合連合会の独自の基準により、一キログラム当たり五十ベクレル以下の魚種を出荷の対象としています。

**今後の取り組み**

本格的な漁業の再開に向けて、引き続き、試験操業で得られた検査結果などの情報を発信していきます。

○お問い合わせ

- 内部被ばく、甲状腺、飲料用井戸水の検査  
保健所総務課放射線健康管理センター ☎27-8560
- 保育所給食、保育所プール水の検査  
こども支援課保育・教育係 ☎22-7458
- 小・中学校給食の検査  
学校支援課食育給食係 ☎22-7545
- 加工食品の検査  
保健所生活衛生課食品衛生係 ☎27-8593
- 水道水放射性物質検査  
水質管理センター ☎22-2419
- 幼稚園、小・中学校プール水の検査  
学校教育課指導係 ☎22-7542
- 四倉・勿来海岸の海水の検査  
観光振興課施設係 ☎22-7480
- 農作物の検査  
農政課農業企画係 ☎22-7471
- 水産物の検査  
水産課 ☎22-7487

〈表4〉いわき産農作物安全確認モニタリング  
①検査結果 (平成26年度) (基準値：100Bq/kg)

区分	検査結果		基準値に対して	
	検体数	割合	検体数	割合
検出下限値未満	6,375	98.88%	6,446	99.98%
検出下限値超～50Bq/kg以下	70	1.08%		
50Bq/kg超～100Bq/kg以下	1	0.02%		
100Bq/kg超～	1	0.02%		
計	6,447	100.0%	6,447	100.0%

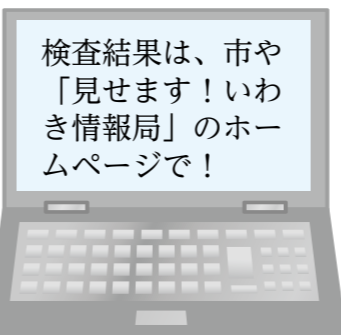
※検出下限値：セシウム134とセシウム137の合算値が10Bq/kg。

②検査件数が多い品目の検査結果 (平成26年度)

品目	検体数	検出下限値を超えた件数	検出された最大値
ネギ	438	1	10Bq/kg
ナシ	303	0	-
ダイコン	266	0	-
ジャガイモ	258	0	-
キャベツ	235	0	-
ハクサイ	209	0	-
キュウリ	193	0	-
サトイモ	184	1	16Bq/kg
カボチャ	171	0	-
タマネギ	171	0	-

〈表5〉出荷制限・摂取制限一覧 (6月17日現在)

品目	制限内容	制限期間
野生キノコ	出荷制限・摂取制限	平成23年9月15日～
原木ナメコ(露地)	出荷制限	平成23年10月31日～
タケノコ	出荷制限	平成24年4月9日～
タラノメ(野生)	出荷制限	平成24年5月1日～
ゼンマイ	出荷制限	平成24年5月2日～
ワラビ	出荷制限	平成24年5月10日～
コシアブラ	出荷制限	平成24年5月14日～



検査結果は、市や「見せます！いわき情報局」のホームページで！

今年度も引き続き、いわき産農作物安全確認モニタリング検査や、自家消費作物等の放射性物質検査を実施するとともに、これらの検査結果を全て公開することで、透明性の確保に努めていきます。

〈表6〉自家消費作物等の放射能簡易検査の結果  
①検査結果 (平成26年度) (基準値：100Bq/kg)

区分	検査結果		基準値に対して	
	検体数	割合	検体数	割合
検出下限値未満	2,810	77.5%	3,173	87.5%
検出下限値超～50Bq/kg以下	195	5.4%		
50Bq/kg超～100Bq/kg以下	168	4.6%		
100Bq/kg超～	452	12.5%		
計	3,625	100.0%	3,625	100.0%

※検出下限値：〈破壊式検査装置〉セシウム134とセシウム137それぞれの値が10Bq/kg。〈非破壊式検査装置〉セシウム134とセシウム137の合算値が20Bq/kg。

②検査件数が多い品目の検査結果 (平成26年度)

品目	検体数	検出下限値未満の件数	検出下限値を超えた検体数	100Bq/kgを超えた検体数
タケノコ	305	161	144	41
シイタケ	208	1	207	164
コメ	196	195	1	0
ジャガイモ	181	181	0	0
イノシシニク	169	10	159	102
カキ	138	138	0	0
フキ	133	129	4	0
キュウリ	111	111	0	0
ウメ	104	100	4	0
ダイコン	103	103	0	0

今年3月に「非破壊式検査装置」を導入しました。従来の破壊式検査装置のように、検体(食品)を細かく刻む必要がなく、そのままの状態でも検査することができます。

※上記の検査結果は、破壊式検査装置と非破壊式検査装置の合算値です。

**農作物に関する放射性物質検査など**

いわき産農作物安全確認モニタリング検査

○検査結果  
昨年度、六千四百四十七件を測定し、その検査結果は〈表4〉のとおりです。

○出荷制限・摂取制限  
放射性物質の検査結果を基に、原子力災害対策本部長(内閣総理大臣)は、県に対し出荷制限などを指示しています。

農作物において、現在も

継続している出荷制限・摂取制限については〈表5〉のとおりです。

**自家消費作物等の放射能簡易検査**

○検査結果  
出荷や販売などを目的としない自家消費用の作物についても、支所や公民館等十四カ所の検査会場を設けて、検査を実施しています。

今年度の検査結果は、〈表6〉のとおりです。

**今年度の取り組み**

今年度も引き続き、いわき産農作物安全確認モニタリング検査や、自家消費作物等の放射性物質検査を実施するとともに、これらの検査結果を全て公開することで、透明性の確保に努めていきます。

平成26年度環境等測定結果がまとまる

環境企画課環境保全係 ☎22-7441

昨年度における、市内の大気や水質など、環境状況に関する測定結果をお知らせします。

空気の汚れ(大気)

おおむね良好

市内12カ所の測定局で24時間測定。光化学オキシダントについて、測定局で環境基準を超えた日がありましたが、全体および年間を通しては、おおむね良好でした。

水の汚れ(河川)

良好

市内17河川の28地点で測定。環境基準が設定されている7河川12地点の全てと、重金属などの有害物質を測定した8地点全てで、環境基準を達成しました。

ダイオキシン類

良好

市内26地点の大気、水質などを測定。全地点で環境基準を達成しました。



※詳しい測定結果などについては、市ホームページをご覧ください。